

<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	株式会社 ゆい	事業所名	看護小規模多機能施設 のぞみ
所在地	(〒224-0062) 横浜市港北区日吉本町6-66-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

小規模多機能型居宅介護事業所として12年運営してからの、看護小規模多機能型居宅介護事業所への移行事業所であります。もともと医療依存度の高いご利用者様の受入れを行ってきでしたが、地域での生活を第一に考え、在宅生活を継続するためにはどのようにしたら良いのかを常に考えている事業所であります。

「最期まで自分らしく生きていく」ための方法を、本人・家族・関係機関と共に検討し最善を尽くす努力をしています。病院から直行で事業所へ泊まる方も多いですが、その後利用回数を減らして行きながら、居宅介護支援事業所へバトンタッチして必要なサービスのみを選択し、在宅生活を継続されている方も数多くいらっしゃいます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 11 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 12 月 21 日	出席人数 (合計)	(21) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■自事業所職員 (10 人) □市町村職員 (0 人) ■地域包括支援センター職員 (3 人) □地域住民の代表者 (0 人) □利用者 (0 人) ■利用者の家族 (2 人) ■知見を有する者 (6 人) □その他 (0 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p><1 理念></p> <p>●自分らしく生きていくためにどうするか？現在の「その人らしく生きる」理念を掘り下げて、看多機における療養生活であっても「自分に生き方」を実現するため、</p> <p>「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」</p> <p>「②在宅での看取りの支援」</p> <p>「③生活機能の維持回復」</p> <p>「④家族の負担軽減」</p> <p>「⑤地域包括ケアへの貢献」</p> <p>を含む、看多機のぞみ独自の理念等を来年度に向けて明確化する。</p> <p><3,4 人材育成・①研修></p> <p>●職員の中長期的な育成計画を作成し周知する。</p> <p>●職員と年2回の定期的な面談を実施する。</p> <p>●介護関係の雑誌も多くそろっているので、職員が自由に閲覧できるように本棚を設置する。</p>	<p>●開所2年を経て、医療依存度の高い利用者様の支援を個別に検討しながら、看多機のぞみ独自の理念は確立できた。</p> <p>●全職員と面談を実施し、個別に「なりたい自分」について明確にした。</p> <p>●職員の休憩室に本棚を設置し、雑誌や参考書を閲覧できるようにした。</p>	<p>●法人理念・介護理念の理解は十分にできていた様子。</p> <p>医療依存度の高い利用者様の支援を個別に検討した上で、看多機独自の理念は確立できたが、「その人らしく生きる」では抽象的すぎるので、より関係者に対して明確にお伝えできるために、言語化する必要がある。</p> <p>●全職員との面談を経て、個人の意見を反映した育成計画を作成することができる。来年度に活かしたい。</p> <p>●比較的スキルアップの意識が高く、情報誌の提供や議事録の閲覧にも積極的であった。E ラーニングの受講率に偏りがあったが、受講方法についての理解不足もあり、今後は期待できそうである。</p>

		<p><6 組織体制・①運営推進会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の内容を会議にて周知し、いつでも閲覧できるファイルを作成し、全員で取り組む体制づくりを行う。 ●会議内容を要約したトピックスを、日誌に盛り込んで周知していく。 <p><10 安全管理・②災害等緊急時></p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害などの緊急時でのサービス提供について、地域の方と連携を取りながら体制づくりを行う。 ●地域の方を交えての避難訓練の開催。開催後のフィードバックを運営推進会議で行い意見を伺う。 ●非常電源の確保のため、発電機の購入について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の議事録をHPより閲覧できるようにした。検討内容や情報提供はミーティングにてお知らせしている。 ●会議内容などは、共有ノートに記述して情報提供するようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民を交えての避難訓練の実施はできなかった。非常電源に関しても、発電機と蓄電池設備を含めた購入を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の内容をHPで確認している職員はほとんどいなかった。情報の共有を促す必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ●災害時の準備として、利用者用の水・食糧は施設内に備蓄している。非常電源については、発電・蓄電を含めた設備の導入を引き続き検討する。被災時にどのように運営することができたかなど、今後の対応について検討・訓練・評価を実施する必要がある。
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p><11 利用者の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ●自宅での生活状況を明確にし、支援内容が充分であるか職員全員で検討できるように、個々の理解を高める。 ●看護師は担当制を設けているので、介護側も担当を設定し、より深く利用者の生活状況の把握に努め、専門性を活かし、ケアマネと看護師との情報交換を密にしてケアプランに反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの職員が自宅での生活を理解できるように、「訪問」の機会を増やし実際の様子を確認できるようにした。 ●介護側の担当制度は明確な担当を割り振ることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多くのスタッフが利用者様宅を確認することができたため、サービス内容を共有することができた。施設での支援に限定されていると、在宅生活の背景が見えにくかったので、良い傾向である。 ●介護士の担当制度は明確な担当を割り振ることができなかったため、評価をすることができない。

		<p><19 介護・看護それぞれの専門性を生かしたサービス提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活の質を上げるために、本人が「やり遂げた」「満足した」など成功体験を感じることができるような計画を作成する。 ●緊急時の対応方針について、利用者全員の最新情報を把握し、実行できるように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ポジティブシンキング」を目指して、日々の成功体験を大切にするように職員に働きかけた。 ●主治医や看護師からの情報を、職員に向けてフィードバックすることはできていた。その他実行できた活動はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「成功体験」の実施に関しては日々のミーティングでその目的と結果の報告がないと、忙しさのあまりすぐに立ち消えてしまう内容であるため根気よく継続する必要がある。 ●主治医や看護師からの情報を、職員に向けてフィードバックすることはできていたが、その他他機関からの意見や情報に対して、どのように支援の内容に活かしたらよいかなど検討する機会がない。
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	<p><31 運営推進会議における地域への情報提供の提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議において、利用者のために必要な介護保険外のサービスやインフォーマルサポートを含めたケアの提供を検討する。 ●Instagram等での情報発信を各事業所で実施できるようにしており、準備が整い次第掲載していく予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Instagramも「めぐみ」では開設することができたが、「のぞみ」での開設は準備できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Instagramを開設するほどの「写真」や「イベントの開催」もなかったため、検討することができなかった。 	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへ	<p><32 運営推進会議記録の閲覧></p> <ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の議事録をホームページにて閲覧できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の議事録は会社のHPにて閲覧できるようになった。 		

	<p>の参画(評価項目 32~41)</p>	<p><33 サービスの概要等についての地域への啓蒙活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板を設置し、活動内容を近隣住民の方へ周知する。 ● HP の更新については適宜行うようにしているが、より見やすいページになるように今後も検討していく。 <p><36 人工呼吸器の利用者の受入れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人工呼吸器の利用者の受け入れに関しては、勉強会を行い体制を整えることから始めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板の設置は準備段階である。 ● 人工呼吸器の利用者に関しては、利用に至る可能性をもった方がいらしたので、より現実的にはなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板や新しい取組の HP への記載などの地域に向けた情報提供の発信については、引き続き検討したい。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療依存度の高い利用者のニーズに合わせるため、介護職員の喀痰吸引研修受講を進めるなどレベルアップに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場にて個人のレベルに合わせた介護技術の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開所当時と比較すると、介護士個人はスキルアップしていると感じているが、常に医療依存度の高い利用者の支援をできるように意識を高める努力が必要である。 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>●自分らしく生きていくためにどうするか？現在の「その人らしく生きる」理念を掘り下げて、看多機における療養生活であっても「自分に生き方」を実現するため、</p> <p>「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」</p> <p>「②在宅での看取りの支援」</p> <p>「③生活機能の維持回復」</p> <p>「④家族の負担軽減」</p> <p>「⑤地域包括ケアへの貢献」</p> <p>を含む、看多機のぞみ独自の理念等を言語化して作成する！</p> <p>●職員と年2回の定期的な面談を実施しながら、中長期的な育成計画を作成し、目標を持って従事する。</p> <p>●災害などの緊急時でのサービス提供について、地域の方と連携を取りながら体制作りを行う。 地域の方々との避難訓練を実施する。 非常電源の確保のための設備を整える。</p> <p>●運営推進会議の内容について、職員間で把握ができていない状況であったため、ミーティング時に説明し、議事録もすぐに閲覧できる状況にする。</p>	<p>●自分らしく生きていくためにどうするか？現在の「その人らしく生きる」理念を掘り下げて、看多機における療養生活であっても「自分に生き方」を実現するため、</p> <p>「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」</p> <p>「②在宅での看取りの支援」</p> <p>「③生活機能の維持回復」</p> <p>「④家族の負担軽減」</p> <p>「⑤地域包括ケアへの貢献」</p> <p>を含む、看多機のぞみ独自の理念等を言語化して作成する！</p> <p>●職員と年2回の定期的な面談を実施しながら、中長期的な育成計画を作成し、目標を持って従事する。</p> <p>●災害などの緊急時でのサービス提供について、地域の方と連携を取りながら体制作りを行う。 地域の方々との避難訓練を実施する。 非常電源の確保のための設備を整える。</p> <p>●運営推進会議の内容について、職員間で把握ができていない状況であったため、ミーティング時に説明し、議事録もすぐに閲覧できる状況にする。</p>
<p>II. サービス提供等</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的な</p> <p>●利用者様ごとに担当を設定し、より深く利用者様の生活状況の把握に努め、介護士の専門性を活かし、ケアマネと看護師と</p>	<p>●利用者様ごとに担当を設定し、より深く利用者様の生活状況の把握に努め、介護士の専門性を活かし、ケアマネと看護師と</p>

の評価	サービス提供 (評価項目 11～27)	の情報交換を密にしてケアプランに反映する。 ●生活の質を上げるために、本人の希望や意向を反映するため、一日一回でも本人が「やり遂げた」「満足した」など成功体験を実施する。	の情報交換を密にしてケアプランに反映する。 ●生活の質を上げるために、本人の希望や意向を反映するため、一日一回でも本人が「やり遂げた」「満足した」など成功体験を実施する。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	●緊急時の対応方針について、利用者全員の最新情報を把握し、実行できるように計画する。 ●運営推進会議において、利用者のために必要な介護保険外のサービスやインフォーマルサポートを含めたケアの提供を検討する。	●緊急時の対応方針について、利用者全員の最新情報を把握し、実行できるように計画する。 ●運営推進会議において、利用者のために必要な介護保険外のサービスやインフォーマルサポートを含めたケアの提供を検討する。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	●掲示板を設置し、活動内容を近隣住民の方へ周知する。 ●HPの更新についてはより見やすいページになるように今後も検討していく。 ●人工呼吸器の利用者の受け入れに関しては、勉強会実施し体制を整えることから始めていく。	●掲示板を設置し、活動内容を近隣住民の方へ周知する。 ●HPの更新についてはより見やすいページになるように今後も検討していく。 ●人工呼吸器の利用者の受け入れに関しては、勉強会実施し体制を整えることから始めていく。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	●医療依存度の高い利用者のニーズに合わせるため、 ・介護技術の向上 ・利用者へ「寄り添う気持ち」の持ち方 ・医療的ケアの知識力の向上 に努めていく。	●医療依存度の高い利用者のニーズに合わせるため、 ・介護技術の向上 ・利用者へ「寄り添う気持ち」の持ち方 ・医療的ケアの知識力の向上 に努めていく。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり で きて いな い	全く で きて いな い		
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	10	3	1	<p>・どのようなところでそう感じたのか、具体的に言語化するとさらによいのではないのでしょうか。</p> <p>・言語化とは、利用者、外部へ対しての告知でしょうか？まだまだ突然、介護が必要になった患者や家族は、小規模多機能、看護小規模多機能の存在を知らない人が多いので、有料老人ホームなどとの大きな違いなどを簡単な言葉で、まとめて案内するのも良いかと思います。</p> <p>・今行っている役割を言語化して掲げることで、職員のやりがいにもつながるようにできると良いと思います。</p> <p>・事業所の理念を意識付けられるような取りくみをされており、教育体制もしっかりと整えられていると思います。職員の方々の意欲を</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●看多機独自の医療ニーズに特化したサービスを提供していくにあたり、自分たちの役割を確立しつつあったが、言語化には至っていなかった。</p> <p>看多機独自の理念の言語化を求められていて、現状の理念や指針に加えて「のぞみ」独自の理念の作成を検討していきます</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						高め、継続した支援ができるよう引き続きよろしく願います	
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	1 3	1	0	<p>・社会貢献等言葉が抽象的で具体的ではないので、評価しにくいように思いました。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●常に「社会貢献」について意識して行動している。</p> <p>●「その人らしく生きる」という理念ののっとり、利用者に合わせた支援を心がけている。</p> <p>●事務所の職員の目のつくところへ理念を掲示し意識を高めている。</p> <p>「社会貢献」は企業理念です。また、「その人らしく」が、ゆいの介護理念です。それらを具体化するために、昨年度は行動指針を策定し、今年度は行動指針に沿った 職員の育成・評価に取り組んでいます。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	5	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような職務にどのような資格があるのかを明確にするため、授業の内容・・・何をどのようにするか・遂行レベルを等級別に表示する職能要件書を作成しておけば良いと思う。 ・具体的にいつまでに等決めているのでしょうか。 ・申し送りの書面なども一つですが、なかなか記録で残る書類よりも、対面での話し合いで、現状の課題や、問題点、希望なども聞けるので、短時間でも定期的な面接は有効と思います。 ・細やかな面接を行われて、職員のやりがいにつながるようにサポートをされていると思います。 ・中長期的な育成計画、とても漠然としたあいまいなイ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <p>●面接を行い、職員の意欲に合わせて資格取得ができるようにしている。</p> <p>【必要な資格・研修とは？】</p> <p>介護： 介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級） 介護職員実務者研修 介護福祉士</p> <p>認知症： 認知症介護実践者研修 認知症介護リーダー研修、認知症介護基礎研修</p> <p>医療行為： 喀痰吸引等研修</p> <p>その他： 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 認知症対応型サービス事業管理者研修 介護支援専門員 防火管理者講習、食品衛生責任者、調理師</p>						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およ そ で き て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
						<p>メージを持ってしまいました。より具体的な目標を掲げていつまでに達成する、それができると次はこれが目標となるというようにステップアップにつながる目標の方がわかりやすいのではと思いました。</p> <p>・テーマとしてはよいと思いますが、具体的にそのためにどのような行動を行うのか明記していただいた方が、評価しやすいと思います。</p>	
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	1	4	6	3		<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>●eラーニングでの研修で年間計画を作成し、その他外部研修の実施を再開している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	9	5	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>●毎朝のカンファレンスの開催に加えて、連絡ノートを使用して情報を共有している。</p>							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	4	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の観点から、充足度を評価します
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>●議事録が常に閲覧できる状況になっていて、情報が共有できるようになった。また、運営推進会議の録画を視聴できる状況になり、情報を共有できるようになった。しかし、運営推進会議がどんな役割を担っているのか職員全体に浸透していないため、充足度は低かった。</p> <p>議事録の閲覧確認を日誌等でできるようにしたいと思います。また、重要な内容については日誌等に箇条書きにして、いつでも確認できるようにしたいと思います。</p> <p>・他職種なので、その職務内容を明確にし、関わり合い方を明確にするため、職務基準表を利用するのも、その一つと思われる。</p> <p>・閲覧し、共有できる環境はできたかもしれませんが、きちんと見たという確認はどのようにしているのでしょうか。</p> <p>・日々の業務が多忙な場合、録画資料や、議事録を開示しても、よっぽど必要な人以外は閲覧しないと思うので、</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		す。				<p>重要なサマリーだけを掲示板などに箇条書きに提示してはどうでしょうか？</p> <p>・運営推進会議の目的を職員の方にも知っていただき、職員の方々が社会貢献の一翼を担っていることを意識できるようになると良いと思います。</p>	
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	8	5	0		<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	8	6	0		<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		きるようにしている。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	10	4	0	<p>・このように行うことによって、どのような効果があったのかを知りたい。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用者様への対応について見守り方法など個々の特徴について共有している。 ●訪問前に安全に訪問できるための声かけを職員間で行っている。 ●余裕を持ったタイムテーブルの実施。 ●悪天候時などの場合は自転車の訪問を避ける。 ●離床時に歩行不安定な方へ、センサーの設置をしている。 <p>対策にもかかわらず事故が発生しています。医療的にも特段の配慮を必要とする利用者も 多い施設ですので、より一層安全にサービス 提供できるように検討を繰り返していきます</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	6	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いざ災害がおこってみると当たり前のように使用できていたもの、使えると思っていたものが使えなかったりするものです。今一度最悪の事態を想定して避難訓練をはじめ非常電源、緊急用食料、水の確保、通信手段、送迎時のルートの確認等されるといいかもしれません。災害時要援護者となるご利用者の方々です。ご近所の方々とのつながりはとても大事だと思います。 ・具体的に災害時等、どのように動くか具体的に決めておき、早急に検証した方が良いかと思います。 ・過去に類を見ない、などの天災が近年起こっているのので、避難訓練など大変かと思いますが、できる人だけではなく、全員の避難練習を地域 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気象によるサービス提供困難時はあらかじめ調整を行う。 ● 年2回避難訓練を実施している。 ● 災害時のフローチャートが掲示されている。 ● 地域の方々を交えての避難訓練は実施できていない。 ● 非常電源設備は検討中で常設できていない。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>の 方々との連携で行う必要性を感じます。医療器具などで非常用電源が必要な利用者さんの人数はわかりませんが、いらっしゃる場合、早急な対応が望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日吉地区は災害時の対応など避難訓練に力を入れている地域でもあるので参加できる内容があれば、状況に応じて何らかの形で参加できると良いと思います。 ・災害時等の緊急時の対応についても具体的にそのためにどのような行動を行うのか明記していただいた方が、評価しやすいと思います。具体的にこういう役割分担、このように行動しよう決めて行かないと、訓練時にも動きが分からず、改善点が不明なままになってしまいます。具体的に示しているものを評価した方が良いかと思いました。 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	8	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ごとの担当制導入は必要。その都度その都度担当が代わるとサービスのばらつき、見落としを起こしやすい。ちなみに歯科医院では、患者さんごとに担当歯科衛生士が決められている。 ・すり合わせやミーティングはすべての利用者に対し、行っているのでしょうか。また、なぜ情報共有が曖昧になっているのかの検証はされ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を設定し OJT で対応していきたいと思 います。				<p>ているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当、副担当を決め、各自、2人をカバーすることにして情報が一人に偏ることなくできれば 有効かと思いません。そして朝のミーティングなどでメインの担当が重要事項のみ申し送りを行い、情報共有がなされればと思います。 ・職員の情報共有が適切に行われるようにいろいろな意見をだして試されると良いと思います。 	
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	2	7	5	0		<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>●家族とコミュニケーションをとるよう に心がけ、利用者様本人の意向に沿った 目標になっているかを確認しながら支援 している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	9	4	0	<p>・成功体験を実感するには、具体的な目標 ①心身の機能の維持回復の具体的に何を ②どのくらいまでにどうしたいかを客観評価できるようにデジタル化（例えばレーダーチャートで表示）</p> <p>・目標は大きすぎると目指そうとさえしなくなるものです。大きな目標と小さな目標を掲げておくといいと思います。</p> <p>・リハビリなど、なかなかやりたくない！となった時に、スモールステップで、「では、30 だけやってみよう」とカウントダウンで声掛けし、本人があとこれくらい…とわかるようにしています。</p> <p>・利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成がおこなえていないということなのではないでしょうか。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	7	6	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>●定期的に支援内容の確認を行い、予後についての支援内容も予測してる。</p>							
<p>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</p>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	8	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>●看護師も月1回自宅にてアセスメントを実施している。</p> <p>●速やかに情報を共有している。</p> <p>●食事について例をあげると、全体的な食事の摂取量を確認し、自宅での食事について、配食や購入などを合わせて本人好みの食を提供支援している。</p>							
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問すること	0	10	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <p>●適時適切な訪問はできていないが情報</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよ そ でき てい る	あまり で きて いな い	全く で きて いな い		
	で、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	を共有し変化を把握した上で介護に従事している。 ●送迎時に家族からのヒヤリングを実施 また、生活状況も確認している。					を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	6	5	2		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●気になる情報は、各医療機関へ報告を行っている。 ●指示書を頂いている場合は報告書を提出している。 ●毎月の主治医他関係機関とのカンファレンスにて情報を共有している。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1	1 2	2	0		✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこ
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●両職種それぞれの観点から得た情報を共有し利用者様へのサービスにつなげている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	1	1 1	2	1		✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●連絡ノートや会議を通して行われている。 ●毎朝カンファレンスを行い、情報を共有している。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	1	1 2	1	1		✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●入浴時などそれぞれのタイミングで、看護師からの情報提供や提案がある。 ●医療情報については、常に全体への指示・助言があり、情報共有できている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	5	6	2		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●サービス導入時に利用方法の説明を行い、その他プランの提案を随時行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	6	5	2		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●計画の変更を随時受けられるように、説明を頻繁に行い、対応できるように準備している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	6	3	2		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●胃ろうを造設している方の家族へ説明指導を集中的に行っている。 ●理解不十分な家族へは、書面を使いながら繰り返し指導している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	2	7	3	2		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●どのように生きていきたいか！希望に合わせたプランの作成をおこなっている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共	1	7	3	2		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●利用開始時に緊急時・重度化時の対応についての確認を行い、その後変化に応					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	有することができる	じて相談を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	7	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	7	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	1	7	2	3	・あまりできていない、できていないと思われる方もいらっしゃるようですが…。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		は随時確認している。					る前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	8	1	2		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●できる限り在宅訪問診療の契約をお願いしている。緊急時訪問看護加算の算定を含め、医師・看護師・介護士が状況に合わせて24時間体制で対応している。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	0	5	3	4	・公的機関を使ったサービス全体をフォーマルサービスなので、利用者さんによっては限界が出てくると思う。それを補うために公的機関のサービスを用いないサービスであるインフォーマルサポートは当然必要になる。現	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●毎回の運営推進会議にて、地域包括支援センターからの情報提供を頂いている。しかし、その内容が運営推進会議からの情報であるかどうか職員は理解していなかった。サービス内容に関しても介護保険なのかインフォーマルサービスな					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い な い	全く でき て い な い		
		のか理解できていない。				<p>在行なわれているフォーマルサービス、その他必要となるインフォーマルサービスを区別する一覧票を利用者さんごとに作ってはいかがでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの情報開示よりも、サマリーで最重要事項などを箇条書きで掲示などしたらいかかでしょうか。 ・この運営推進会議について、職員への周知、内容の情報共有が必要なのではないのでしょうか。 ・地域に密着した職場同士で連携が取れたらと思います。よろしく願いいたします。 	<p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	2	5	5	1		✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容] ●会社のHPにて、常に閲覧できる状況 になっている。					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極的 な啓発活動が行われている	0	3	6	4	<p>・掲示版作成やホームページ の作成の開設を進めていき ながら、つなぎとして看護小 規模多機能施設「のぞみ」ペ ーパーニュースを配布して はいかがか。掲示板やホーム ページのコンテンツの予行 演習になると思われる。</p> <p>・コロナ禍なので、掲示版の 活用は大切だと思いますが、 いかがでしょうか。</p> <p>・日常業務の中で、プラスし ての「あったらさらによいだ ろう業務」は、忙しすぎる場 合、自主的にやる！を管理</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます</p>
		[具体的な状況・取組内容] ●掲示板の作成を検討していたが、実施 できなかった。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						者が職員に期待することは 難しく、加算性などにして、 評価や昇給につなげていっ たらどうでしょうか？	
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	3	2	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●居宅介護支援事業所からの訪問介護の依頼も受けている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	7	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	0	2	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題ですかね。 ・こちらも、研修、資格取得、勉強会への出席を評価への加点性として、職員に対して、評価が見える化し、仕事をするモチベーションの向上につなげてはいかがでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2	7	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	5	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護が加わったことによって、今まで小規模多機能では受け入れ困難だった医療依存度の高い人や、退院直後の状態が不安定な人、在宅での看取りを希望する人への在宅療養支援を、可能にすることができたことで、どれだけの評価が必要か、職種ごとの職務分担表を作成し、職務を明確にする。 ・全てはこの理解からスタートするんだと思われます。専門用語、表現も多いので、かみ砕いた表現をされると理解も深まると思います。ともに学んでまいりましょう。 ・外部向けの簡単で分かりやすい掲示を作成し、同時に社員にも大きな違いを理解し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>てもらい、日常業務以外の率先した研修などへの参加を明確な評価の基準として、職員のプラス業務をやらされている！の壁をなくし、自発的な行動へのやる気 向上に導いていく。</p> <p>・地域包括ケアシステムは地域住民と専門職ではイメージに相違があるので、地域で行われている活動などに事業所のアピールができるようになると地域の方々により知ってもらう機会ができると思います。</p>	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	0	9	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象と
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●集合住宅に限ってサービスを提供している実績はない。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	3	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」 ✓
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	3	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およ そ でき て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
		なることが、なかなか結び付かなかった様子。					<p>を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>● 身体状況の改善や、支援者の負担軽減や就労の再開を目標とし、達成できている。</p>	<p>・ 具体策の確立、負担軽減策の構築により、更に達成できるようになるのではないのでしょうか。</p>	<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>● 医療依存度の高い利用者様についても、「通い」や「泊まり」を利用することで、安心して在宅生活を継続できるようになった。</p>	<p>・ 特に医療依存度の高い方が在宅で過ごされる場合、かなり心強いと思います。</p> <p>・ 評価の際、どこを短期目標とするのか。もっと具体策があったほうが良いかと思いました。</p> <p>・ 引き続きよろしく願いいたします。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●自宅での看取りが困難なケースにおいて、「泊まり」で最期まで対応できて安心を得られた。</p> <p>●看護師と介護士が、定期・随時に訪問し「自宅」お看取りすることができた</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>